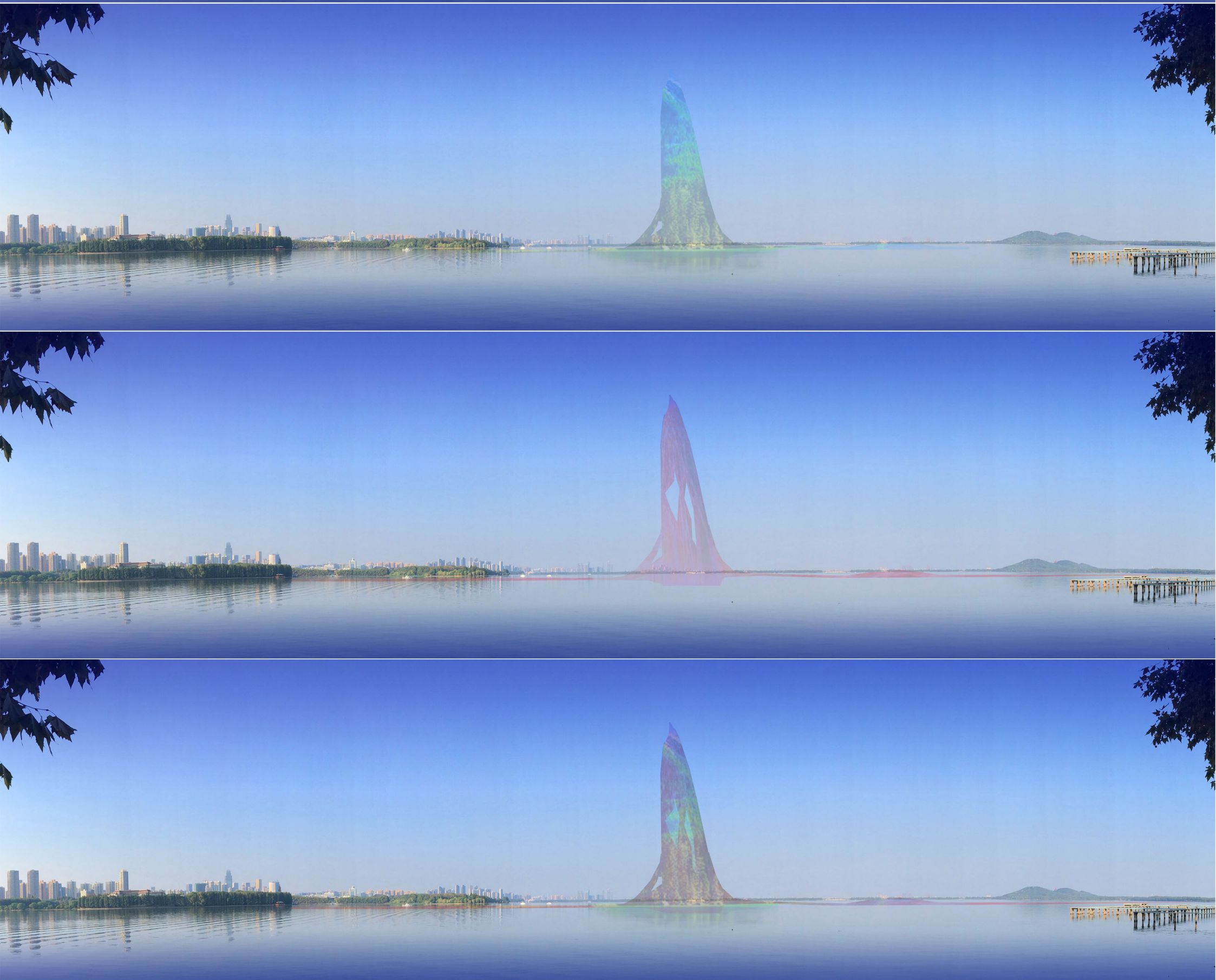


CHINA IMAGINATION

鈴木 隆之

建築家／小説家／武漢大学教授

成長を生み出すのは経済である。しかし変化を作り出すのはイマジネーション以外にない。地球環境のサステナビリティが大きなテーマである現在、成長を追い求めるのは時代錯誤である。だがそれとともに、変化をもあきらめる社会に、果たして魅力はあるだろうか？中国は今も変化を続けている。その想像力はどこからきているのだろうか？中国のみならず、世界の想像力の歴史を紐解きながら、建築の可能性を探り出す。



日時：2020年1月24日（金） 開場16時・開演16時30分
会場：北海道科学大学G棟G303教室

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 北海道科学大学キャンパス内

交通アクセス：<https://www.hus.ac.jp/access/>

会場所在：<https://goo.gl/maps/tcvqnjBRPLC2>

鈴木 隆之 SUZUKI Takayuki

1961年生まれ 京都大学建築学科卒 工学博士（東京大学）
京都精華大学教授、SCI-Arc（アメリカ）客員教員、聖ジョセフ大学（マカオ）訪問教授などを経て現在武漢大学（中国）教授。英国ダンディ大学とのダブルディグリープログラムを担当。
1987年、小説『ポートレート・イン・ナンバー』で群像新人文学賞受賞（現代企画室刊）。
2006年、建築『小説家の家』でSDレビュー入選。
主な著書に『建築批判』（彰国社）、『表現空間論～建築、文学、映画』（論創社）『未来の地形』（講談社、小説）、『パーフェクト・ワールド』（論創社、小説）など。
主な建築作品に『EXCES』『京都精華大学本館』など。